

## 令和3年度第2回徳島県西部地域政策総合会議 会議概要

### 1 開催日時

令和4年3月7日（月） 午後3時30分から午後4時45分まで

### 2 開催場所

西部総合県民局 美馬庁舎2階 大会議室

### 3 出席者

(1) 西部地域政策総合会議委員 10名出席（うち5名オンライン出席）  
伊庭委員，金村委員，澤田委員，武田委員，殿谷委員，西村委員，  
平尾委員，藤田委員，真鍋委員，翠委員

(2) 計画推進評価部会（オンライン出席）  
石田部会長，篠原副部会長

(3) 管内市町（オンライン出席）  
美馬市 藤田市長，三好市 高井市長  
つるぎ町 古城副町長，東みよし町 松浦町長

(4) 県関係  
福田局長，安西地域創生観光部長，上岡保健福祉環境部長，  
國安農林水産部長，大西県土整備部長，櫻田政策調査幹 他

### 4 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」の改善見直し（案）について

(3) 閉会

### 5 配付資料

資料1 徳島県西部地域政策総合会議委員名簿

資料2 令和3年度第2回徳島県西部地域政策総合会議 配席図

資料3 徳島県西部地域政策総合会議設置要綱

資料4 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」のR4年度に向けた改善見直し（案）  
について

資料5 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」の改善見直し（案）

資料6 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」第5章（令和4年度版）（案）

（局長）

ただ今より、「令和3年度第2回徳島県西部地域政策総合会議」を開会させていただきます。

飯泉知事はギリギリまで出席できるよう調整をしていたんですけれども、本日コロナ対応により、急遽欠席させていただくことになりましたので、御了承いただければと思います。

さて、本日は、新型コロナウイルス感染症対策として、皆様にオンライン参加をお願いしたところ、地元市長さん、町長さん、副町長さんをはじめ、多くの皆様と、ここ美馬庁舎をオンラインで結んで開催とさせていただいております。

それでは早速議事に入らせていただきます。

まず「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の改善見直し（案）について、事務局から説明をさせていただきます。

（調査幹）

資料４により説明

（局長）

ありがとうございました。それではただ今の計画の見直し（案）を含めまして西部圏域の振興につきまして委員の皆様から順次御意見をお伺いしたいと思います。

（委員）

私からは林業関係といたしまして、昨年はウッドショックにより木材価格が高くなったため外国産材の輸入がなかなか入らず、その中で国産材の需要が高まり木材価格が高いまま維持されているという形になっております。その中で徳島県から、一昨年はコロナ対策、昨年はウッドショックに対する御支援をいただきまして、コロナ禍でも目標達成が順調に行われているのではないかと考えております。お礼を言わせていただきます。ありがとうございました。木材価格の高騰を追い風に、木材生産量をスマート林業プロジェクトによって伸ばしていくというのが目標であります。その中で、現在A材・B材・C材、木材チップや合板など色々な面で需要が高まっているところであります。その中で、林業機械や、人材に関しても林業アカデミーから毎年20名という現場で即戦力になる人材を送り出しているところであります。引き続き御支援よろしく願いいたします。以上でございます。

（局長）

はい、ありがとうございました。林業関係について御意見いただきました。お話がありましたように、県ではスマート林業プロジェクトを令和元年度から始めておりまして、高性能林業機械の導入により、生産性の向上を図っているところでございます。お話でもあったとくしま林業アカデミーでありますけれども、これまで64名の卒業生が即戦力として、事業体で就職していると、その中で16名が西部圏域管内での事業体で就職しているということでありまして。今年度は19名がただいま実習に励んでおりまして、来年度は24名が入学を予定しており、順調に担い手の育成というものに取り組んでいるところでございます。今後も現場の声を政策に反映させたいと思っており、今後とも意見交換をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは続きまして、オンラインで御参加の委員さんお願いいたします。

（委員）

よろしくお願いいたします。私はですね、観光地域づくりマネージャーというものをさせていただいております。観光地域づくりマネージャーとは何かというと、観光庁から認定されて、にし阿波観光、県の観光事業の振興発展、そういった役割を担っております。観光地域づくりマネージャーには様々ななりわいの方がいらっしゃいますが、本当に地域の民間人材を活用することは観光地域づくりに最も大切であるという風に感じております。昨年の秋に観光地域づくりマネージャーとして穴吹小学校に行って観光をテーマとして出前授業というものをさせていただきました。そこで観光業の本当の素晴らしさ、にし阿波観光圏の観光地、穴吹町での世界農業遺産にも選ばれている地域でのお茶作り、そういったことや、東みよし町の伝統工芸であります、桐下駄の生産などについて紹介をさせていただきました。小学生の子どもたちの反応は非常に興味深そうに聞いてくれましたし、初めて知ったことが多かったようで大変喜んでいただいた、というふうに感じております。今回の出前授業が子ども達の色々な学びの機会として、地域の素晴らしさに気付いていただいたという風に手応えを感じております。小学校での出

前授業というのは観光地域づくりにとても有意義な授業であるというふうに感じております。そこで今回、西部圏域振興計画に入れていただいておりますが、是非とも観光出前授業を進めていただきたいと、そして県民局の皆さんには、なかなか学校とのスケジュールの調整など必要になってくると思っておりますので、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。私の方からは以上でございます。

(局長)

はい、ありがとうございました。委員につきましては、観光地域づくりマネージャーだけではなく、様々な分野で地域活性化の取組みをされておられるということで、県民局の事業にも色々お手伝いをしていただいております事を感謝申し上げます。お話にありました小学校での出前授業でございますけれども、やはり民間の方の実体験に即した授業というのは迫力があって生徒さん達にもスッと入ってくるのかなと思っております。今後とも出前授業というのをしっかりと進めていきたいと思っておりますし、県の観光事業につきましても民間の方々と一緒にやって取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

続きまして、よろしくお願いいたします。

(委員)

美馬青年会議所の活動としましては、コロナということで、なかなか思うように活動が出来ませんでした。11月には地域の飲食店の経営者の方とワールドカフェ形式での勉強会という形で、交流イベントを実施させていただきました。高齢の経営者の課題なども伺いしまして、今後、賑わいを取り戻すような支援イベントを協力してできないかと計画しています。

また、子どもたちに向けた料理教室をオンラインで開催しました。コロナ禍ということ、子ども達への情報リテラシーを高めるためのデジタル化の推進もしたいということで、オンラインで開催をしており、引き続きオンラインを活用しながらデジタル化・子ども達への情報教育の取組みをすすめたいと考えています。

また、地域の情報を集めたポータルサイトを立ち上げ、運営したいと考えており、ローカルな情報を集めて効果的に発信していきます。

なかなか、大変な状況ではありますが、なんとかしたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

(局長)

ありがとうございました。青年会議所の事業としてコロナ禍での飲食店への支援の取組みであるとか、子ども達に対する情報リテラシー、今のデジタル化に対応する子どもさんへの教育というものに取り組んでいきたいという趣旨の御発言でございました。青年会議所として様々な活動を美馬の地区でされているということで、非常に敬意を表する次第でございます。地域づくりというのは行政だけではなくて、やはり民間の皆様のお力がどうしても必要であると考えておりますので、今後とも県民局とも連携をしていただきますようお願いをいたします。

それでは続きまして、よろしくお願いいたします。

(委員)

西部防災館では防災と健康増進に関するイベントを毎月開催しております。今年度より、コロナ禍でも地域の方々がイベントに参加しやすいようZoomを活用したオンライン講座を開催しており、今後もオンライン講座を積極的に周知していきたいと思っております。今年度、中学校1校よりオンライン防災講座の要望がありましたが、来館してい

ただけるようになってオンライン講座の実現には至らなかったんですが、中学校ではオンライン授業を実施しておりオンライン講座も可能と思います。今後、小中学校や企業などの組織などからオンライン講座の依頼がありましたらお引き受けしたいと思っております。その時は県民局や各市町にも御協力いただけたらと思っております。来年度も地域住民の方々や小中学生や防災組織の方々に対して、防災や健康増進講座を積極的に開催し、年間100回を目標に実施していきます。以上です。

(局長)

はい、ありがとうございました。ただいま紹介いただきました西部防災館は、にし阿波地域のいざ発災という場合の、防災の拠点、物流の拠点でございます。委員には平時における防災館の利活用というところで各種の講座を積極的に開催していただいております。このコロナ禍で生まれたオンライン講座につきましては県民局も積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。

それでは続きまして、お願いいたします。

(委員)

この政策総合会議の資料を見させていただきまして、重点項目1の1である「アフターコロナを見据えた「にし阿波」プロモーション体制づくり」であるとか、重点項目5でいうところの中項目1「にし阿波型もうかる農業」とか中項目3の「国内外との交流を通じた商工業の振興」というところで、やはりこのにし阿波は、独自の農業というところがいろんなところにフォーカスされてる計画内容になっているんだろうなという風に私は考えておりました、非常にこの特徴のあるにし阿波農業というところがいろんな形で重要視されていることが伺えており素晴らしいことだというふうに思っておりますし、私のジオパークというところでも大地と結びつきのある文化だったり生態系だったりを保全しながら持続可能な形で取り組んでいくとしておりますので、すごく一緒に取り組んでいけたらいいかなという風に思っております。そのためにも、今私たちのやっている推進協議会という団体があります。これは行政だけじゃなくて研究機関であるとか地域の方々40団体くらい合わさって活動しておるんですけども、その中で県の方々とも一緒に傾斜地農業を踏まえて活動を一緒にできたらいいなと考えておりますのでよろしくお願い致します。以上です。

(局長)

ありがとうございました。委員におかれましては、日頃からジオパーク構想の推進に非常に熱を持って取り組まれております。心から敬意を表する次第でございます。ジオパークとお話がありました世界農業遺産の傾斜地の方が非常に密接に関係するということございまして、そういった意味も含めて一緒に情報発信していくというような所で、またよろしく願いしたいと思っております。

それでは続きまして、美馬会場の委員さんよろしく願いいたします。

(委員)

今、資料を見させていただきまして、まずは重点項目2の中で人気が高まるアウトドアを契機に剣山のファンのさらなる拡大というところで、これは素晴らしいとても良いことだなあと思っております。アフターコロナになったら自然豊かなところにいろんな方が集まってきてくれるんじゃないかなと、ラフティングを始めウェイクボードなどができる三好市、にし阿波としては魅力がたくさんあるので交流人口を増やしたいなと考えております。猪ノ鼻トンネルが昨年、皆様の力で完成できまして大変便利になりました。元々香川からの交流人口が非常に多いところございしましたが、コロナ禍でも香川ナンバーの方よく見ますので、近くになって時短もできてたくさん来てくれるんじゃないかなと思います。そういうのを見ると、このにし阿波、三好市、徳島県に他県にない

ようなものを作っている猪ノ鼻開通の需要を捉えたり、いろんなことを考えてもらって、池田湖の利活用プロジェクトも始まっております、ただまだコロナ禍で全然動けてないんですけども、腰を据えてプロジェクトを進めております。また、天然記念物の小歩危大歩危をもっと活用し発信して、官民協力してとにかくコロナ禍の後にどうにか交流人口を増やしていきたいなと思っております。

それからワールドマスタースゲームズの資料5の2ページにありますワールドマスタースゲームズ2021関西が延期になりました。一応2026年の予定でございます。これだけ延期されたらどうなるのかなと思うところもあるんですが、コロナの情勢いろんなことを思いましたら、これぐらい時間をかけていただいて、外国との交流を考えると妥当なところじゃないかなと思っております。関係している人間としては色んなメンバーがおりますが、2026になってもしっかりとし阿波の魅力を取り込んでワールドマスタースゲームズを迎えたいなと思っております。そして同じページにスポーツやアクティビティの体験とかスポーツツーリズムを推進しますというのが、2019年からずっと続いてるんですけども、26年に向けて推進でなくともうちょっと力強い言葉がないかなと思っております。よろしく申し上げます。

(局長)

ありがとうございました。アフターコロナというところで自然豊かなこの徳島、特にし阿波地域への交流人口の増加というお話でございます。委員の御尽力によりまして吉野川の新たなアクティビティとしてラフティングというものはしっかり定着をしたのかなと思っております。そういったことも踏まえてアフターラフティングと言いますか、ラフティングの次に何か新しいものをとというところで、このにし阿波地域を売っていききたいなと思っております。お話にありましたワールドマスタースゲームズの延期というのはやむを得ないところではございます。2026年になるかどうかというところは分かりませんが、しばらく延期ということでの盛り上がった気分が落ちてしまわないような取組みというのは必要ですし、何らかの形で延期後のマスタースゲームズを盛り上げていく取組みというのはずっと続けていかないといけないのかなと思っております。よろしくお願いたします。

それでは続きまして、よろしくお願いたします。

(委員)

私の方はお仕事を通して感じたことが、ちょうど資料の改善見直しの案の方にもありましたので、そちらのお話をさせていただけたらと思います。農泊ですが、とくしま農林漁家民宿の研修とかモニターツアーのお仕事をさせていただいて感じた事なんです、皆さんコロナにちょっとビビってしまって研修に行くのもちょっとやめとくとか、研修会場を貸してくれませんかと言ってもうちはやめとくとか、皆さん怖がってしまってなかなか積極的に、こういう時代だから仕方がないのかもしれないんですけども、アフターコロナっていつ来るんだろう、withコロナでやっていかないといけないんじゃないかなと思っております。そういった方々、お宿の方のモチベーションが下がらないような何か応援ができたかなと思います。例えばツアーの造成でありましたり、お宿の食事割といつも一緒の食事だったりするので、例えば苺農家さんだったら苺のスムージー作ったりスイーツだったりヨーグルトだったり、今の若い方が好むようなお食事の開発が必要じゃないかとちょっと感じました。1日1組しか受けないよとか、安全・安心のPRの仕方を県の方から応援して差し上げるとかそういったことができたらいかなと思います。

あと、アウトドアについてですが、委員さんからも先程お話がありましたけれども、剣山のモニターツアーの造成という仕事をさせていただいて、ゲストの方が20代と30代と極力若い方、また環境意識の高い方をモニターツアーに招いて、剣山を体験していただくという機会がございまして、その時の話をさせていただけたらと思います。皆さん

剣山といえば登山ももちろん楽しいですが、それ以外のハンモックで寝転んだりとか焚き火をして星空を見て楽しかったとか、アンケートで何が一番印象に残ったかと言うと夫婦池でのカヌーが一番楽しかった、焚き火が楽しかった、星空がすごく綺麗だった、登山でなくてハイキングが楽しかった、というような御意見が多かったです。そういった方々が大步危のラフティングを楽しまれたり、県内を周遊するようなことができたかなと思います。

あと、世界農業遺産についてですが、世界農業遺産のブランド認証品の販売の支援をしようということで、皆さんの御意見を伺ってたんですけども、今年は干ばつと長雨で、そば米も3分の1とか2分の1とかの収穫量だったということで、すごく自分のとこだけでは駄目で、新規就農の方をたくさん応援してあげたり、耕作放棄地をまとめていくようなことをしないと世界農業遺産のブランド認証品を作り続けて行くこともできないというようなお話を伺いしたり、また、ごうしゅいもは売れてあっという間になくなって、食材として欲しかったんですが、農家さんから手に入らなかったりとかそういったことがございました。若い方にはインターネットショッピングとか食べチョクなどのサイトで、徳島県が昨年、徳島県産の商品の送料無料キャンペーンがあったんですが、それが凄く大人気で商品がすごく売れた、ゆず農家さんから伺ったんですけども、すごく儲かったといったお話をいただきました。そういった取組みの継続もお願いできたらなと思います。

最後に、弊社の新しい取組みを御紹介させていただきます。弊社はもともと印刷機があった印刷会社ですけども広告全般の仕事が増えていて、宿泊施設とかコワーキング施設が隣接した施設とさせていただいております。お客様は、全国の施設を利用できるサブスクリプションからのお客さんも少しずつ継続して増えております。今年になってから第二期のリノベーションを始めまして、Zoomとかをやりやすいように、より小部屋に分けたりとか、今サウナが流行っておりますので、テントサウナを購入して新しい楽しみ方とか、穴吹川での川遊びとかにお客様を呼び込めたらなという取組みをしております。今日、3月7日はサウナの日ということでヨガをしてからサウナを楽しもうという「yohak totono wa night」というイベントをしておりますので、また御協力いただけたらと思います。最後に、にし阿波地域の産品を使った商品開発で、入浴剤のパックとかデトックスを目的としたものなんですけれども、にし阿波のものを使ったそういった商品とか、にし阿波の野菜を作ったスムージーの開発とかも行っておりますので、また皆さん召し上がっていただけたらと思っております。以上でございます。

(局長)

はい、ありがとうございます。今、コロナ禍におきましては、まずはその地方の移住とかテレワーク、ワーケーションに非常に注目が集まっているところでございます。委員さんの様々な経験と知識をまた色々教えていただきながら進めていきたいと思っております。また、世界農業遺産のお話もございました。今日はつるぎ町さんも御参加いただいておりますが、世界農業遺産、今年で5年目になりまして、去年の9月ですが専門家会議によりモニタリング調査がございました。非常に高く取組みを評価していただいております。次の5年に向けてということで今現在、新しい計画を策定をしているところでございます。つるぎ町さんが事務局になって2市2町力を合わせてやっておるんですけども、そういった中でまたお話も聞きながら、ブランド化に向けて是非とも取組みを進めていきたいと思っております。

(委員)

私は三好市、東みよし町でお母さんたちと一緒に子ども達が帰って来たいと思えるような、まちづくりに取り組んでおります。その中でまず、2月に吉野川ハイウェイオアシスの2階にプレオープンしました、東みよし町が設置しました吉野川テレワークオフィスの運営をさせていただくようになりました。こちらはにし阿波の真ん中にもありま

すし、旧三好郡の入り口となる場所ですので、ここから地元の方々と地方に来られた都市部の方々との連携を生み出し、この地域で足りていないものを補いながら新しいビジネスが生まれていけばなと思ひながら運営をさせていただいております。

その次に、徳島県が取り組んでおりますが、ワーケーション、サテライトオフィスを活かしながら盛り上げていきたいと思っております。今、徳島県の方でも取り組まれております、わくWORK徳島のインターンの大学生を3名私の方で受け入れさせていただいております。2週間から4週間滞在していただいているんですけども、全国の候補地から自分の将来に役立つであろう業種で弊社の事業に魅力を感じて来てくださったり、地域に行ってみいたいということにし阿波に来てくださっています。その中でやはりなかなか短期の滞在では見えてこないような課題が、長期滞在することで見えてきたり、地元の若い女性と一緒に事業に取り組むことによって、都市部と地方の差であったりとか課題であったりとかお互いがシェアしながら一緒に築き上げて、にし阿波で足りてない部分を都市部と連携しながら事業を進めていけるように取り組んでいるところです。やはり、コロナ禍でにし阿波でも感染者が増えていく中で、保育園がお休みになったり小学校がお休みになったり仕事を休まなければいけないとなった時に、お母さんの働き方というのでもwithコロナの中で見直していかなければならない時期になっているのかなとすごく感じます。その中でやはり県のほうの取組みにありますDXの活用というのは必須になってくると思ひますし、地方の人材不足を補うために都市部のスキルのある方とタッグを組んで進めていく中でも、オンラインの活用、DXの活用というのは必須になってくると思ひます。徳島県の方でも男女の方での取組みでDXを活用した女性の人材育成事業もされておりますが、やはりにし阿波の女性にスポットを当てたスキルアップの人材育成なんかも検討いただけるとありがたいです。今までの事業の中ですごく課題と思ひているのが、農泊もすごく魅力的で地方に来て農業しながら実際の生活に溶け込んでいるというのは魅力だと思ひますけれども、若い女性達が訪れてくれる中でやはりまちなかでプライベートを保ちながら長期滞在できる場所を求めていたりとか、若い人たちが生活しやすいような少しインテリアであったりとか、そういう内装などにこだわった建物というのが古民家なども活用しつつ作っていくことができるかなと思ひております。そういうものがあれば、再度訪れたい長期滞在したいというようなところで地元の人たちとの人間関係が築けることで、お互い大きな関係人口につながってくとと思ひてます。そのところにも御協力、御支援、御尽力いただけたらと思ひております。私からは以上です。

(局長)

ありがとうございました。御紹介いただきましたとおり、吉野川ハイウェイオアシスに素晴らしいテレワーク施設ができました。県民局としてもしっかりとPRしていきたいと思ひております。また女性の観点から何点か御意見がございました。やはりこれから女性の観点に立ったいろんな施策というのが求められてくると思ひております。やはり長期滞在の視点というのは非常に大事だと思ひておまして、長期滞在をしていただくことによってその地域に興味を持ったりとか、深い関係人口になっていくというようなこともございますので、どういった取組みができるのかということにつきましては、またその郷でありますとか、そういったところと十分に連携をしまして進めていきたいと思ひております。また、農泊を活用したテコ入れと言いますか、農泊を核にした交流人口の拡大ということにも取り組んでいきますので、是非、女性の目線ということについて、大事に取り組んでいきたいと思ひております。

それでは、オンラインの委員さんお願いいたします。

(委員)

はい、日頃は県西部のために御尽力いただきありがとうございます。今日は3点につ

いて発言させていただけたらと思っております。

まず1点目は県立の総合寄宿舍の整備についてでございます。先月の県議会においても飯泉知事の方から整備に関する前向きなご意見をいただきました。これについては感謝をしたいと思っております。ありがとうございます。早期の整備をお願いしたいというところでございます。県立高校の寮の整備は、にぎわいづくりや関係人口の創出など、行政の進めるまちづくり、商工会議所が進めるマチナカの観光化の事業につながっていくと思っております。行政や学校だけじゃなくて、商工団体も、協力していく必要があると思っておりますので、また協力して高校生の取組みだったりを進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

2点目が酒まつりの御協力でございます。今年で23回目を迎える酒まつりなんですけれども、感染拡大防止の観点から2月に開催をさせていただくのを延期させていただきました。現在、最終決定ではないんですけれども、5月頃開催に向けて実行委員会で準備を進めているところでございます。また開催にあたって、いろんなことがございます。しかしながら、たくさんの方が四国の酒を本当に楽しみにされています。状況を見ながらになります。来場者を楽しんでいただけるように準備して参りたいなと思っておりますので、今後とも御協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に関係人口、ファンづくりの推進についてであります。先ほど委員さんからもお話がありましたけれども、わくWORK徳島の方で、弊社の方にも一人来ていただきました。ワーケーション事業ということで来ていただいたんですけれども、本当に意識が高くてですね、弊社の社員も含めて刺激を受けたところでございます。今後とも引き続きお手伝いをお願いして、仕事もアウトソーシングしながら継続して関係を続けていく予定でありますし、地域のファンづくりという点でもこっちに来ていただけたら楽しんでいただけるように進めていきたいなと思っておりますので、今後とも推進の方をよろしく申し上げます。また、阿波池田商工会議所管内におきましても担い手づくりで、今後、会員が減少というのは大きな課題となっております。ワーケーションを含め色んな取り組みを、今後とも商工会議所を含め協力しながら頑張っていきたいなと思っておりますので、御協力の程よろしくお願い致します。以上です。

(局長)

はい、ありがとうございました。1点目の三好寮につきましては、本日三好市さんも御参加いただいておりますし、私の方としても県教委でありますとか、知事にも今の御発言の方をしっかりとお伝えをしていきたいと思っております。それと酒まつりですが、私も2月の酒祭り楽しみにしておりましたけれども、こういう季節柄、延期は残念ですけれどもやむを得ないかなと思っております。県民局としましても管内の非常に大きなイベントでございます。是非とも協力をさせていただいて成功裏に開催をできたらなと思っております。最後の民間の取組みとの連携というところでございますけれども、やはり交流人口の拡大というのは行政と民間ってというのがしっかりと連携をするということが何よりも重要であると考えておりますので、県民局としてもしっかりと連携をして取組みを進めさせていただきたいと思っておりますので、何なりとお申し付けいただけたらと思います。

それでは、オンラインの委員さんよろしくようお願いいたします。

(委員)

はい、よろしく申し上げます。私の方からは、大きく分けて2点ほど今回述べさせていただけたらと思っております。まず1点目ですが、委員から言及がございました農泊について、お伝えできたらと思っております。弊社は西部総合県民局さんと一緒にワーケーションの事業をさせていただいております。その中でワーケーションの中へ農泊を組み入れてツアーを開催しようと考えておりました。コロナで大変な部分はあるんですけれども、実は弊社の関連の企業が来た時や知り合いが来た時に農泊に泊まりまし

て、農泊の運営の方とすごく仲良くなって、その人を中心にコロナ禍ではあるんですけども実は何回から東京からお越しいただいて、いろんな農家民泊を渡り歩くだったり、泊まったり交流したりというところがございます、関係人口というところでそういう農泊というのはすごくいいんだなという風に感じているところがございます。ただ、西部圏域にはいろんな農泊があるんですけども、目立った特色というのを見出すのが難しいかなというのがツアーを作る上で感じるところがございます。人の良さであったり、地元の物っていうのは同じようなものを出しているかなと感じるころはございましたので、今回、にし阿波農泊推進フォーラムというのを開催するというところで、例えば農泊コンテストのような、この農泊はこういった特色・特徴がありますというような特色を押し出したら良いなと考えているところがございます。

2点目がですね、ワーケーションについて色々やっているとございますが、美馬市地域交流センターミライズに「[ ] & Work (アンドワーク)」という新しいコワーキングスペース兼テレワーク施設をオープンいたします。そこでコワーキングスペースを活用して、関係人口でありましたりテレワークを推進していけたらと考えておりますので、にし阿波地域の皆様方と一緒にコンテンツでありましたり、テレワーク人口の増加といったところに一緒に尽力できたらと考えておりますので、是非宜しくお願い致します。以上でございます。

(局長)

ありがとうございます。ただいま農泊についてとワーケーションについて、色々御意見をいただきました。来年、県民局として農泊にターゲットを当てたフォーラムをやる中で、ただ今の御意見についても検討させていただきたいと思っております。またミライズでのワーケーションも地域の課題解決を民間目線で取り組んでおられるということで生まれてきたものと思っております。このワーケーションについても、今コロナ禍で非常に注目を集めているというところで、今後一緒になって取り組んでいきたいというふうに思っております。ありがとうございます。

それでは、御出席の委員から御意見をいただきましたので、計画推進評価部会の部長さんと副部長さんにも御出席をいただいておりますので、御意見をお願いしたいと思います。まず部長さんよろしく申し上げます。

(部会長)

評価部会からということで参加させていただいております。よろしく申し上げます。評価部会としましては、より良い計画の策定と地域の発展のお役に立てるような、そのような評価に努めてまいりたいと考えております。今回も評価結果に対しては真摯に計画の見直しに反映させていただいております。今後も、今回同様にどうぞよろしくお願い致します。簡単ですが以上でございます。

(局長)

ありがとうございます。続きまして副部長さんよろしく申し上げます。

(副部長)

最近テレビやネットで東京一極集中に変化の兆しが現れつつあるというようなニュースを目にしました。東京から転出した人がどこに行かれたかという増加率が出てまして、最も高かったのが鳥取県だそうです。その次が長野県、その次が高知県で、山梨県、徳島県がその次、順位といえば上位に入ります。移住が直接コロナと関係するかどうかというのは定かではありませんが、アフターコロナを見据えた、にし阿波のアピールが移住の促進や企業の誘致に繋がるのではないかと思います。しっかりアピールしていただいて、さらにはし阿波の魅力を出して、人が増えるのを楽しみにしております。以上です。

(局長)

はい、ありがとうございました。続きまして、本日は年度末の大変お忙しい中、地元の市長さん、町長さん、副町長さんに御出席いただいておりますので、御発言をお願いしたいと思います。美馬市さんちょっと回線の確認の方をしておりますので、先に三好市の高井市長さんお願いできますでしょうか。

(三好市 高井市長)

はい、三好市の高井です。よろしくお願いたします。本日は政策総合会議ありがとうございます。日ごろから徳島県の皆さんを含め、委員の皆様それぞれの立場で、それぞれに素晴らしいを御提言、御提案いただきまして、本当に感謝を申し上げたいと思います。

まずはお礼の方から、先ほどお話があった池田高校の三好寮の件は、本当にありがとうございます。かねてから多くの皆様から要望があり、今日もちょうど議会があったんですが、池田で貴重な高校生活3年、すごく幸せに寮で過ごせるようにしてもらえたらと思います。またどうぞよろしくお願いたします。それから先週は、国道439号の下瀬2号トンネルが開通し、落合地域の皆さんの生活、観光の利便性にも資するという事でお礼申し上げたいと思います。

改めて何点か三好市の取組みを申し上げたいと思います。三好市の課題は災害対応と人口減少つまり人手不足でございまして、この2点が常々、過疎地はどこも同じだと思っておりますが、大きな課題に取り組んでおります。また、コロナ対策ということにも前向きに取り組んでおります。改めて思ったんですが、にし阿波という地域は、文化も自然も、地域毎にあって、それぞれの良さを4市町で支えておりますけど、一緒に頑張りたいなと改めて思っております。コロナ禍であって県外に行けないので、子ども達同士の交流も、にし阿波圏内はもとより、徳島県内の子どもほど、意外と地元の体験をしてないものであったり、徳島県も広うございますので、徳島県全体の素晴らしさをあらゆる年代を越えて色々な体験ができるのではないかなと感じています。三好市は林業と農業がとても大きな分野で、ここら辺も人手不足です。農泊、民泊の話も出てましたが、中長期の滞在をしていただいて農業体験や林業体験、まさに三好市の良さなり、体験住宅というのもあるんですか、人手不足を少しでも解消しながら滞在をして、良さを知ってもらえるのは、農家にとってメリットがある体験の仕方というのは、すごく魅力的かなと思います。人手不足の解消のために、例えば林業アカデミーも森林環境税もたくさん来ますので、人材確保のために林業アカデミーの西部校なんかも是非進めていただきたいと思っております。市の農業振興にはICTの活用、西部の農業は急傾斜で効率化がしにくいので生産の手間を削減することであったり、基金の活用について、また是非知恵を貸していただけたら、支援をいただけたらと思っております。にし阿波の農産品、やつまたや粟、きびとか、非常に手間がかかって生産がなかなかできないので、付加価値をつけて少量でも高く、スーパーフードも高かったり、そこでしか食べられない、体験できないというもので付加価値を付けて売り出していきたいと思っておりますので、またそういったことでもいろいろ御指導いただけたらありがたいと思っております。

最後になりましたが、地域の方が幸せを感じていなければやはり人に来ていただけないと思っております。地域のことを愛して、そこに住むことに幸せを感じて喜びを感じていければ、来てくれる人にもいいとこだと勧めやすいと考えておりますので、地域の幸せの向上のために頑張る中で、にし阿波圏内での交流、子どもたちを含めた色々な交流をもっと密にやっていきたい、公共交通の連携であったり、移動手段のことであったり、一緒になって色々出来ることがあると思っております。中長期的な滞在交流を持ちながら滞在してもらえるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。最後に、やはりコロナでさまざまなイベントができなくなったり、延期になったりしながら、皆様色々工夫していろんなイベントにチャレンジしてくださっていると思っております。でき

るものはやって、縮小してもできることをやっていきたい、頑張っていきたいと思いますが、イベントが無いことで交流が減ったり、行動ができなくなってモチベーションが下がるというのがあると思います。モチベーションを保てないということを心配しておりますので、体験ということで大地を体で感じて、五感で生きる喜びを感じてもらう、ウォータースポーツだとかキャンプが注目されていますので、そういったところで一緒に連携しながら進めていけたらと思っておりますので、どうぞ御指導よろしく願いいたします。ありがとうございました。

(局長)

続きまして、東みよし町の松浦町長さん繋がっておりますでしょうか。

(東みよし町 松浦町長)

県の皆様におかれましては、西部圏域振興計画の見直し(案)で御報告いただきましたとおり、新型コロナウイルス感染症、人口減少、災害列島の三つの国難の打破を目指しGX、DXにも積極的に取り組んでおられますことに、敬意を表したいと思います。また、にし阿波の強みを活かした多くの取組みで2市2町を支援していただいておりますことに感謝を申し上げたいと思います。そして先ほど皆様から御意見ありましたが、委員さんからは、本町の地場産業である桐下駄と出前授業等で地域の観光のリーダーとして活躍していただいております。この場をお借りしてお礼申し上げたい、引き続きお願い申し上げたいと思います。また各委員の皆様方にも御協力、御尽力いただきまして感謝の敬意を表したいと思います。そして先ほど委員の方より御報告ございました吉野川ハイウェイオアシスにおけるテレワーク施設の開設についてでございますが、吉野川ハイウェイオアシスの改善に向けて取り組んでいるところでございますが、委員にはテレワークオフィスの管理運営を担っていただいているところでございます。この吉野川テレワークオフィスでございますが、四国の中心に位置しており立地条件の良さ、また、清流吉野川、四国山脈と讃岐山地を見渡すロケーションの良さとして、リモートビジネスの拠点、交流の場として、また、地域の方々も気軽にお越しただいて地域の活性化や情報発信の拠点として、様々な利用価値を見出しながら進めてまいりたいと考えております。先ほど高井市長の方より新型コロナウイルスについての話もございましたが、新型コロナウイルスが私たちの働き方また暮らしを大きく変えるような影響を与えました。社会の変化や新しい価値観に対するべく我々町も市と県と協働で取り組んでいきたいと考えております。県の皆様におかれましては、御指導、御鞭撻賜りますようよろしくお願いし、また委員の皆様におかれましては、引き続きの御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。

簡単ではございますが、以上でございます。

(局長)

続きまして、つるぎ町の古城副町長さん繋がってますでしょうか。

(つるぎ町 古城副町長)

つるぎ町の副町長の古城でございます。ただ今、各委員さんからはし阿波地域を良くするための御提言をいただきました。我が町にも該当する箇所が何箇所かあったと思っております。生涯にわたって住み続けたい町を実現するために、出来る範囲でお応えしていきたいと考えております。特につるぎ町としての意見はございません。終わります。ありがとうございました。

(局長)

それでは、美馬市の藤田市長さん繋がってますでしょうか。

(美馬市 藤田市長)

いつも大変お世話になっております。美馬市長の藤田でございます。まずは委員の皆様また各市町の皆様方におかれましては、常日頃から本市行政の推進に格段の御支援、御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

さて、私からは令和4年度に重点的に取り組む本市の施策についてお話をさせていただきたいと思っております。まずポストコロナを見据えた対策でございます。国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用しまして、遅くとも今年秋までにはデジタル地域通貨の運用を開始したいと考えており、併せて「スマート申請・窓口システム」や「遠隔相談窓口システム」の導入など、デジタルの実装に着手してまいります。また新型コロナウイルス感染症の影響で、教育旅行、農家民泊が激減しております。新型コロナウイルス収束後に教育旅行、農家民泊の受け入れを何とか復活できますよう、補正予算に必要経費を計上いたしました。世界農業遺産に認定をされております中山間地域で、もう一度教育旅行の受け入れができますよう、県や各市町の皆様とも連携を図りながら進めて参りたいと考えております。

一方、新型コロナで外出が抑制され、運動不足などにより健康二次被害が指摘をされております。本市では徳島ヴォルティスや大塚製薬との連携によるヴォルティスコンディショニングプログラムに取り組んでおり、昨年12月にはスポーツ庁から「スポーツ・健康まちづくり優良自治体」として表彰いただいたところでございますが、4月からは脇町「小星ベース」に会場を移し、感染防止対策を徹底しながら、引き続き取組を進めることとしており、健康二次被害の予防にも努めてまいりたいと考えております。

2点目は、新たにオープンする施設についてでございます。まず地域共生交流施設「小星ベース」を拠点に、『人生100年時代』美と健康のまちづくり』に本格的に着手いたします。「2007年に日本で生まれた子どもの半数は107歳まで生きる」と推計されているそうですが、高齢化社会工学と訳されるジェロントロジーを市民の皆様にご覧いただくための講演会やワークショップの他、美容体験会やウォーキングイベントなど、各事業の実施を通じ、人生100年時代を美しく健康に暮らし続けられるまちの実現を目指してまいります。また、小星ベースではマイナビ農業のノウハウを生かした「リーダー農業経営者養成講座」を開催するほか、敷地内にアグリワーケーションが可能な「IoT水耕栽培施設」を整備することとしております。

一方、地域交流センターミライズの2階に整備中のテレワーク促進施設も4月にオープン致します。施設の利用者が自由なコンテンツを仕事と掛け合わせることをイメージし、先ほどの委員の御発言にもありましたが、愛称を「[ ]&Work」としたところでありまして、テレワークを通じて市内外のプレイヤーが交流し、新たな価値を生み出す、そんな施設にしたいと考えております。なお、テレワーク促進施設「[ ]&Work」はうだつの町並みに隣接していることから、本年2月に地方創生テレワークアワードの地方創生担当大臣賞を受賞いたしました「G&Cコンサルティング」など、町並みに進出しているサテライトオフィスとも連携し、町並みにおける古民家再生事業との相乗効果を生んでいきたいと考えております。

3点目は防災・減災についてであります。南海トラフ巨大地震や、全国的に頻発する豪雨災害への備えは、2市2町において共通の課題かと思っております。本市では一昨年より地域防災マネージャーの資格を持ちます防災対策監を配置するとともに、これまでの防災訓練のあり方を抜本的に見直し、市全体で行う避難所開設・運営リーダー養成研修、各避難所毎に行う避難所検証訓練、そして市民に一斉に参加していただくシェイクアウト訓練と3段階に分けて実施しております。また排水ポンプ車や給水車両、災害用ドローンの購入、ハザードマップの改訂、非常時優先業務の訓練を踏まえたBCPの見直しなどにも精力的に取り組んでおりますが、災害対策基本法の改正に伴う避難情報の見直しなど目まぐるしく変わる制度に機を逸することなく対応していかなければいけません。県からは人材の育成などを含め、是非御支援をいただきたいと思っております。

以上、本市の取組の一端を紹介させていただきましたが、ハイスピードハイクオリティーをモットーに、各種施策に果敢にチャレンジして参る所存でございます。皆様方におかれましては、今後とも引き続きの御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(局長)

それでは以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。皆様方におかれましては、長時間に渡り御出席を賜り、また大変貴重な御意見をいただきありがとうございました。本日いただきました御意見につきましては、知事にも報告をさせていただき、今後の西部圏域の振興にしっかりと反映してまいりたいと考えております。

引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして、令和3年度第2回徳島県西部地域政策総合会議を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。